

# 麻に つるる



仏・ノルマンディー リネン畑 Photo by T. Iida

**日本麻紡績協会**

**ASABO** / Japan Linen, Ramie & Jute Spinners' Association

麻につつる

目次

・業界レポート	2019年リネン（亜麻）事情	・・・	2
	2019年ラミー（苧麻）事情	・・・	3
・技術レポート	リネンの中白染め	・・・	5
・パリ・ワールドリネンフォーラムレポート		・・・	7
・2018 江西麻紡博覧会参加レポート		・・・	9
・ミラノ・ユニカ出展・出張レポート		・・・	11
・プルミエールビジョンレポート		・・・	13
・会員企業紹介	株式会社廣瀬商会	・・・	15
	サイボー株式会社	・・・	16
	岐セン株式会社	・・・	17
・新会員企業紹介	株式会社 ANTS JAPAN	・・・	18
・会員企業一覧		・・・	20
・会員企業ネットショップ URL 一覧		・・・	21

## 業界レポート

## 2019年リネン（亜麻）事情

## □ 欧州リネン

2019年リネン原料（フラックス）のメイン産地フランス、ベルギー、オランダの三ヶ国作付面積は前年度（2018年）より約10～12%増加し（約14.5万ha、昨年原草収穫数量一重15万トン、二重5.6万トン）内用途40/L以下の原料が少ないため、値段は40/L以上の細番手用と比較して値上げ幅が大きく、2019年現在まで一重の値段は昨年同期30%、二重は50%それぞれ値上げされている。値上げの主な要因は中国国内消費向けリネンの需要急増と思われる。この現象はしばらく続く模様である。（因みに一重の値段4.0€/kgに接近）

インド情報：現在リネン潤紡糸の稼働は10万錘。インド政府は昨年後半より、中国からのリネン糸に対し平均2.5\$/Kg（60L以下）の輸入関税を課すなど保護政策を行っている。しかし、リネン原料の欧州調達難や値上げに直面するなどインドリネン産業は、現在厳しい状況にある。

## □ 中国リネン

中国リネン：中国リネン紡績業堅調：リネン潤紡績規模が約100万錘に達し（ヘンプ潤紡績含む）実際の稼働率は昨年より増加し、60～65万錘の予測。堅調な中国国内のリネン需要増加により、一部の中小紡績メーカーが休眠状態から復活し、原料の需要に更に拍車をかけている。

中国潤紡糸生産高：2018年は10万トン程度。2019年は欧州フラックス原料値上げ、中番手以下の原料不足及び労働力不足により潤紡糸の値上げは確実。2019年は昨年の同時期より中番手以下は1\$/Kg程度の値上げ、生地は20%～30%の値上げ予測。

その為、中国紡績メーカーがリネンからヘンプ糸へ変換するメーカーも一部みられる。

## &lt;5ヵ年作付面積、原料・原糸生産量、価格推移&gt;

主要3ヶ国 (フランス・オランダ・ベルギー)	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
作付面積（ヘクタール）	95,000	110,000	140,000	145,000	160,000
原料生産数量（トン）	130,000	120,000	120,000	150,000	170,000 (推定値)
原料価格（€/Kg）	2.35	2.98	3.0	3.5	4.0 (推定値)

\* 原料生産高：Long fibres - Scutched line

\* 2019年度の数字は予測数値



仏・ノルマンディー リネン畑 photo by M.Suzuki



仏・ノルマンディー リネン畑 photo by M.Suzuki

## 業界レポート

### 2019年ラミー（苧麻）事情

#### 1. ラミーの栽培状況について

ここ数年ラミー栽培に関しては明るい情報は入ってきていなかったが、今回の報告では栽培面積に関し、縮小が止まり若干新たな栽培を行うところが現れたとの知らせが届いた。過去の最高点と比べれば、数パーセントになっている栽培面積ではあるが、関係各社は皆このような変化への期待感を持っている。

しかしながら全体的には楽観できる状態ではなく、市場性を失いつつある現状の価格が改善され、生産に支障ない程度の原料供給がなされるまでの見通しは立っていない。現在のラミー栽培は、ラミー栽培が好きな農家が主に行っているが、最低保証も無く、農民の高齢化も進んでいる。農作物としての地位を再び確立できるよう地方政府のラミー栽培面積に対する支援を期待する。

#### 2. ラミーの栽培面積及び生産量について（推定）

栽培面積は約5万畝（3,333Ha）プラスアルファと推測され、昨年より若干増加したと思われる。

その主要産地は四川省で約4万畝（2,666Ha）。その他湖南省と湖北省で約1万畝。その他江西省や安徽省に散在しているが、正確な面積は考証できない。

今回の情報として、四川省で34千畝、湖南省と湖北省で約3千畝の新規栽培が確認されたとあり、これは間違いなく活きた畑である事を示している。従来最も懸念されていたのは畑の管理状態で、栽培面積にカウントしているが生産につながらない面積がかなりあると推測されていた。昨年状態は、5万畝で3回刈取りを行えば計算上3,000tの生産量であるが、実際には年2回の2,000t前後と思われる。今年は同じ5万畝であるが予定通りの3000tは見込めそうである。

但し、市中在庫が底をついており、原料が逼迫している状況は続いている。

#### 3. 原草価格について

2016年から上がり始めた原草価格は未だ落ち着く気配はない。特に2018年は上昇が続く、1年間で50%近く値上がったが、現在も収束していない。

今のところ農家の力が圧倒的に強く、ラミーの市場性より加工業者の生産確保からの引合いが優先され、結果として価格が独り歩きしている状態。

ここにきてようやく農家の生産意欲が向上し、量的には増加への期待感は強まっているが、価格ダウンへの道は険しそうな状態のままとなっている。

#### 4. 2019年の見通しについて

上述の通り若干明るい状況になりつつあるが、需給のバランスが改善されるまでにはまだまだ時間が掛かりそうである。栽培面積を拡大し需給のバランスを少しでも緩和させることが急務であるのは間違いなく、その為に政府と業界団体との連携による各種対策を期待したい。

一部の地域では政策的な栽培面積確保を推進しており、このようなプロジェクトの成功を祈ると共に、機械化に注力し農家の人手不足を補おうとしている地域も出始めているようで、減産に歯止めがかかる事を願っている。

また、環境政策による厳しい排水処理規制で壊滅状態の精練工場の問題も大きく、伝統産業でもあるラミー生産の危機的状況について、中国麻紡績行業協会を中心に早期改善を望むところである。

## 亜麻・苧麻統計表

(単位：千円)

品目	輸入糸					
	亜麻糸		苧麻糸		計	
平成年(1～12月)	数量(t)	金額	数量(t)	金額	数量(t)	金額
平成20年	972	1,078,211	271	240,994	1,243	1,319,205
平成21年	805	752,842	247	198,107	1,052	950,949
平成22年	903	762,908	298	249,500	1,201	1,012,408
平成23年	1,315	1,243,565	338	269,174	1,653	1,512,739
平成24年	1,172	1,099,260	262	232,549	1,434	1,331,809
平成25年	1,574	1,730,654	294	327,287	1,868	2,057,941
平成26年	1,452	1,826,471	315	380,177	1,767	2,206,648
平成27年	1,512	2,149,292	307	448,620	1,819	2,597,912
平成28年	1,178	1,410,512	215	278,070	1,393	1,688,582
平成29年	1,294	1,490,800	220	299,854	1,514	1,790,654
平成30年	1,382	1,737,013	225	360,732	1,607	2,097,745

(注) 財務省日本貿易統計による。

(単位：千円)

品目	輸入織物						輸入ハンカチ	
	亜麻織物		苧麻織物		計		亜麻・苧麻ハンカチ	
平成年(1～12月)	数量(千㎡)	金額	数量(千㎡)	金額	数量(千㎡)	金額	数量(千枚)	金額
平成20年	7,858	2,569,593	1,053	234,836	8,911	2,804,429	179	71,865
平成21年	6,224	1,769,982	995	275,402	7,219	2,045,384	331	62,549
平成22年	6,244	1,827,638	618	178,334	6,862	2,005,972	219	32,372
平成23年	6,954	2,351,660	928	247,210	7,882	2,598,870	114	25,943
平成24年	6,702	2,330,368	646	204,931	7,348	2,535,299	124	36,842
平成25年	7,134	2,878,201	717	239,543	7,851	3,117,744	81	40,658
平成26年	7,365	3,236,254	687	274,121	8,052	3,510,375	85	44,298
平成27年	6,822	3,258,646	796	289,496	7,618	3,548,142	87	38,013
平成28年	7,642	3,037,204	640	219,255	8,282	3,256,459	83	32,654
平成29年	7,624	3,019,338	605	212,452	8,229	3,231,790	86	36,624
平成30年	7,609	3,289,511	674	269,854	8,283	3,559,365	61	29,381

(注) 財務省日本貿易統計による。

## 技術レポート

### リネンの中白染め

西陣染色株式会社 田垣内 進

#### □ 麻繊維とは

- 1 一般的に麻と呼ばれているものは植物学上から分類すれば50～60種になる。  
そのうち衣料用として代表的なものに亜麻（リネン）苧麻（ラミー）がある。
- 2 表面は筋や節があるが綿のような天然撚りはない。
- 3 綿よりも結晶化度が高く引張強さが大きく伸び率は小さい。
- 4 吸水速乾性が優れている。
- 5 熱伝導率が良く肌に接触冷感、涼感を与える。
- 6 染まりにくい。
- 7 フィブрил化して白化しやすい。
- 8 しわになりやすい。

#### □ 中白染め開発経緯

元々、リネン100%の染色依頼はさほど多くなく、主に40/1 60/1などの細番手を扱ってきた。ある時、8/1番手の染色依頼があったが、未染部分（白場）が発生しどうしても無地に染色出来なかった。

そこで「きれいな無地染が不可能ならメランジ斑が出来ないか？」という発想になり結晶化度が高く染まりにくいというリネンの特性を利用し、中白染めを開発することとなった。

#### □ 開発目標 「チーズ染色」「反応染料を使用した高堅牢度」「均一な中白」 「内外層色差削減」「リピートの再現性」

中白染めとは糸の芯の中まで染料を浸透させず白いまま残して出来るだけ速く表面だけを染色する特殊な技術で一見目標と相反する加工ですが染色処方、染料選択、下巻きなど様々な工夫をすることにより目標も何とかクリアし、現在に至っています。

#### □ 中白染めの特性

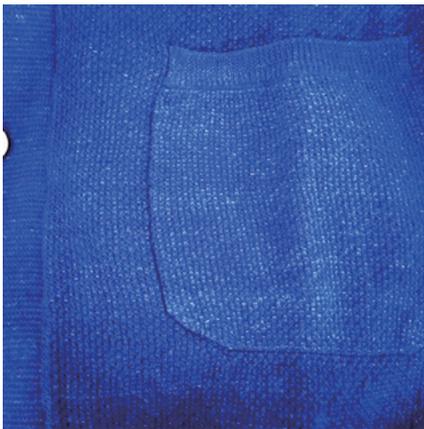
糸の芯の部分を白く染め残すことにより使い込むほど、洗うほどに糸の濃淡が生地の表面に表れ豊かな表情が出て来ます。

- 1 リネン100%の加工です。  
ラミー100%は製造工程の違いからリネンほど顕著に白場が出ません。
- 2 色相により不可能な場合があります。（黒は不可）
- 3 ホワイトリネンの方が白場が多く出ます。

- 4 単糸の方が白場が多くです。(双糸では少しほやけた感じになります)
- 5 摩擦堅牢度は若干劣る場合がありますが他は問題ありません。
- 6 若干内外層色差、段斑が発生することがあります。
- 7 基本的には丸編み用です。
- 8 1本取りを避ければ横編みも可能と考えます。
- 9 チーズ染のみの加工です。

#### □ 中白染めの応用

中白染めの白い部分を異色に染色する異色（多色）メランジ染めも出来ます。  
中白染めと区別するために次のようにネーミングしました。



シロミエール加工（中白染め）



イロミエール加工（異色メランジ染め）

シロミエール加工、イロミエール加工とも本来はリネン 100%加工ですがリネンが高混率の混紡糸、交撚糸たとえばリネン／綿、リネン／ウール、リネン／ポリエステルなどの加工も可能で面白い表情になると考えられます。

特にリネン／ウールはウールのメニック染と組み合わせることにより、他に無い表情を作ることが出来ます。

#### □ 終わりに

最近、繊維に様々な加工を施し、付加価値を付けることが多くなっていますが、麻をはじめ天然繊維は繊維本来の性質をそのまま生かすことが最も重要だと考えております。

その点、中白染は特別な薬品を使用せず麻本来の性質は全く損なっておりません。

以上



昨年9月17日フランスパリ市16区アール&メティエサロン（Les Salons des Arts & Metiers）で欧州リネン協会（CELC）主催のワールド・リネンフォーラムが開催されました。二年に一度開催される国際リネン会議とは別に、世界のテキスタイル市場でリネン素材が見直され、市場定着しつつある現状下、各国がCELC本部のパリに集合しフォーラム・ディスカッション（公開討論）を目的として開催されました。世界16カ国から約200名のリネンマン&リネンレディが集まり有意義な討論が展開されました。日本麻紡績協会からはAKAI、アトモスフェール・ジャポン、アンツ・ジャパン、岩田工房、金丸整理工業、ケンランド、滋賀麻工業、トスコ、麻糸商会、ミマス、帝国繊維計11社13名が参加しました。

会議では、各国からの基調報告や最新リネンの技術的な報告がなされ、日本からは特別ゲスト・スピーカーとして、ファースト・リテイリング社（ユニクロ）の欧州UNIQLO社長森川卓氏による「ユニクロのビジネスモデルとリネン挑戦」と題する報告がありました。また日本からの基調報告として、ASABO 香山会長代行から「Market Outlook of Linen in Japan for Sustainable Growth」と題する経済産業省・財務省資料を基に纏められた日本市場の報告を行いました。日本は世界第二のリネン消費国であり、今回も各国からの注目度が格段に高いものでした。（日本麻紡績協会 HP に同報告が掲載中）



## 2018 江西国際麻博覧会及び麻紡績技術普及会」参加レポート

崑山東蘇克有限公司 上用 秀樹

10/26 - 27、江西省新余市にて開催されました「2018 江西国際麻博覧会及び麻紡績技術普及会」に参加しましたので、その内容を報告致します。

【期間】 2018年10月26日～27日

【場所】 江西省新余市 新余体育センター（セレモニー会場及び博覧会）  
新余開元頤居酒店（麻紡績技術普及会）、北湖賓館（懇親会）等

### ◆博覧会オープニングセレモニー

華やかな雰囲気の中、中国麻紡織行業協会会長の董春興氏の挨拶で始まり、各団体の幹部より、麻産業発展の為の課題や取組について発表がありました。

この中で、江西省工信委員会副主任、江明成氏の発表は特に印象に残りましたので、簡単に紹介します。

現在新余市分宜県では、中国夏布の郷として、総計画面積の2.94平方キロ、総投資30億元以上をかけて、麻紡特色の町を作り、国内初の生産、金融、電商、倉庫、取引機能がそろった専門の麻紡基地にしていき、苧麻栽培についても今年1万ムー（約670ヘクタール）での苧麻栽培を開始し、2020年には3万ムーにしていくとのいうものであり、年々栽培面積減少が懸念されている苧麻栽培に歯止めがかかることを期待させる発表でした。



## ◆博覧会

セレモニー及び博覧会の会場総面積は6000平方メートルで、主に2つの展示区（麻紡産業展示区、麻芸服飾区）と総合活動発表館に分かれていて、百社を超える企業が出展し、主催者発表では1万人を超える国内外、江西省内外の来場者が参加しているとのことで、実際とても活気のある博覧会でありました。



## ◆麻紡技術普及会

講演タイトルのみ記載します。

- \* 綿紡設備の苧麻糸加工技術  
郁 崇文（東華大学教授）
- \* 精細化漢麻工程繊維の製造  
褚 特野（恩達集团公司副總經理）
- \* 麻紡織品生地製造設備性能紹介  
張 軍（山東日發紡績機械有限公司  
事業部總經理）
- \* 麻紡績生体智能製造技術及び産業化  
程 隆棣（東華大学教授）
- \* 紡績工場現場管理数字化解決方法  
吳 宝殿（アモイ市軟通科技有限公司總經理）
- \* 大麻紡績商品の開発及び生産実践  
袁 保衛（山西緑州紡績有限責任公司 董事長總經理）



## ◆所感

麻博覧会が開催された江西省新余市は麻紡産業の発展に力をいれており、今回の麻博覧会は大変盛大なもので、伝統とファッション、産業と文化を融合させ、国内外の交流を深め、中国の産業発展の成果を展示し、「華夏麻」の文化を広めようとするものでした。

以上

## ミラノ・ユニカ出展・出張レポート

### <概要>

ファッション素材見本市「ミラノ・ユニカ (MILANO UNICA)」が2月5日にイタリア・ミラノで開催し、イタリアを中心とした欧州企業 467 社が出展して2020年春夏物のテキスタイルと服飾付属品を提案。今回も昨年に引き続き、日本麻紡績協会加盟の3社が「The Japan Observatory at 2020SS」内に出展、日本の麻素材を発信することが出来た。

主催：JETRO（日本貿易振興機構）、JFW（日本ファッションウィーク推進機構）

後援：経済産業省、日本繊維産業連盟

日時：2019年2月5日（火）～2月7日（木）3日間

場所：イタリア・ミラノ RHO FIERA MILANO

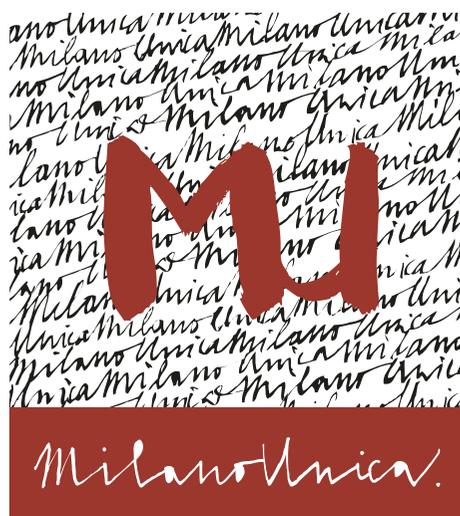
出展：湖東繊維工業組合（株）麻絲商会、滋賀麻工業（株）、（株）大長

### <出展レポート>

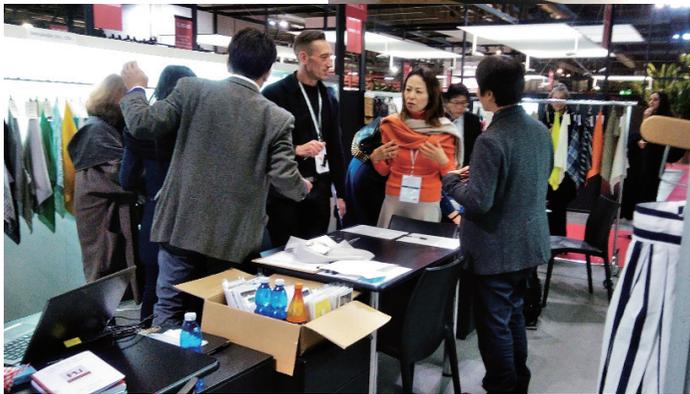
株式会社麻絲商会 中辺 雅昭

今回で3度目の出展を終え、ブース内の生地展示方法の統一感を高め、スッキリとした見栄えの良い感じに仕上がり、ブース来場者は約120名程、生地をピックアップしたバイヤーは約55社程。年を追うごとにバイヤー数と選別を行う会社数の増加は顕著に現れており、リピーターでの来場バイヤーも増えております。

特にGIORGIO ARMANI、Vivienne Westwood、MARNI、VALENTINO、Christian Diorの5社はリピーター。1点見本依頼先はGIORGIO ARMANI、ASPESI、Ermenegildo Zegnaの3社。今年もリネン100%高密度タイプ塩縮加工、タンブラー加工、先染めチェックの14/1クラス太番手を中心に60/1までの綺麗なチェック、リネン複合先染めストレッチ等が主に選ばれた商品です。まだまだ商況は厳しく帰国後も商社とエージェントとの打合せ等を行い、秋口にも渡欧し内見会等を計画。それに伴い今後の対応と対策が必要だと思われる。



Milano - 9, 10, 11 Luglio 2019  
Shanghai - 25, 26, 27 Sett. 2019



## PREMIERE ViSiON PARIS 2020SS 展

興和株式会社 遠山 哲史

2019年2月12日（火）～2月14日（木）プルミエールヴィジョンが開催されました。弊社は2016年9月展（2017年AW）より出展し、今回が6回目の出展となりました。

出展者は1,782社（2018年2月展比3.3%増）内、日本からの出展社は生地51社レザー、アクセサリー4社の計55社。来場者は127ヶ国より53,156名（2018年2月比2.3%減）でした。

これは、イギリスのEU離脱によるマーケットの消極性に影響を受け、イギリスの来場者数の減少は16%で、この数は全体の減少数3分の2であったとの報告がプルミエールヴィジョンジャパン（株）社よりありました。

FORUMにピックアップされた弊社生地は、ESSENTIALSで7点（コットンポリエステル交織ドビー、ペーパーヤーン使い等）、PERSPECTIVSで2点（コットンポリエステル、コットンレーヨン交織）、SPORT&TECHで1点（コーデュラナイロン綿混）、の10点ありました。

1回目の出展時より、弊社の特徴でもある綿中心の展示を行ってきましたが、今回は、現在営業部が力を入れているマニラ麻原料のペーパーヤーン使いの生地を、海外バイヤーにわかりやすい様に＜和紙＞として展示しました。

FORUMで2点取り上げられた事もあり、来客ピックアップサンプルのTOP3とも、綿紙交織商品でした。

通常ではアポイントが取れない客にサンプルピックアップしてもらい、届ける事で商談のチャンスを掴むという事を初出展時よりの目的としてきましたが、前回9月展後に漸く、新規先からバルク発注をいただける様になって来ました。

プルミエールヴィジョンも、クリエイティブファッションとしての発信は当然ながら、SDGs等の発信も大きくなり、各社環境保護に取り組む姿勢を見せる事も重要となってきています。

弊社は認証付のオーガニックコットン素材を出展しましたが、大手バイヤーからは、綿ではBCI、化学繊維等ではリサイクル、といった引き合いが多くありました。

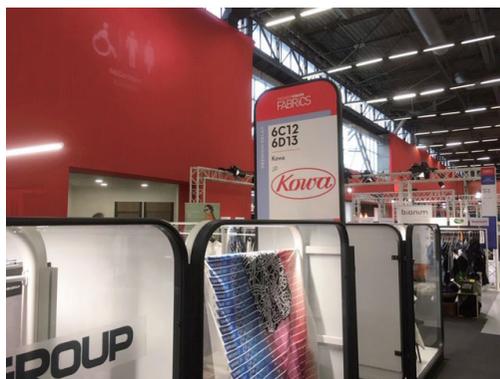
認証については色々な意見がありますが、消費者クレーム、マスコミ攻撃等から企業を守るための保険として必要との事でした。

また今後のトレンドとしては、加工における水の使用量を減らす事が上げられました。染工場では織物 1mt あたり 60 リットルの水を使用しており、全世界の染工場での 1 年間の水の使用量は地中海 1 杯半分との事です。

日本では大きな話題にはなっていませんが、ポリエステルニットに関しては、Nike、adidas、社が超臨界二酸化炭素流体染色による水の使用量の無い生地の使用を表明しており、麻も含めた天然繊維の加工でも水の使用量の減少を謳う事（再利用循環型も含めて）が世界に向けての発信になるかも知れません。

弊社は次回 9 月展の出展も決定いたしました。2020 ～ 2021AW 向けとなりますが、リネン混の商材等にも力を入れていきたいと思えます。

以上



## 会員企業紹介

### 株式会社廣瀬商会

代表取締役社長 廣瀬 慶太郎

廣瀬商会の創業は今から114年前の1905年、三井呉服店（現三越）から独立したのがはじまりです。当時は麻を原料として陸海軍、鉄道省、逓信省などへ繊維資材品を中心に納入してまいりました。また細番手を使用した製品・資材の生産を続けております。

当社の取扱商品もその時代のニーズに応じて繊維から機械、洗剤他化学薬品、医療関連資材、災害対策用備蓄商品まで多角化し「お客様の困った」に応えるべく事業領域を広げております。これからも、資材の改良による「品質の向上」「商品の長寿命による省資源」化などトータルでご提案してまいります。

#### 〈会社概要〉

称号 株式会社 廣瀬商会

創業 1905年（明治38年）

設立 1961年（昭和36年）

資本金 1億円

本社 〒103-8287 東京都中央区八重洲1-4-18 八重洲ヒロセビル  
TEL: 代表：03（3271）3851 FAX: 03（3281）3639

大阪支店 〒530-0003 大阪市北区堂島1-5-17 堂島グランドビル3F  
TEL:06（6341）5061

名古屋支店 〒460-0008 名古屋市中区栄5-23-20  
TEL:052（261）6761

福岡支店 〒812-0034 福岡市博多区下呉服町5-11  
TEL:092（271）3541

札幌支店 〒060-0003 札幌市中央区北三条西2-8 さっけんビル4F  
TEL:011（221）7663

仙台支店 〒984-0075 仙台市若林区清水小路6-1 東日本不動産仙台ファーストビル11F  
TEL:022（266）5091

洗機部 〒120-0043 東京都足立区千住宮元町23-1  
TEL:03（3870）8411

物流部 〒278-0013 千葉県野田市上三ヶ尾金剛寺259-17  
TEL:0471（23）7501

星広（上海） 商貿有限公司 STAR HIROSE SHANGHAI CO.,LTD  
上海市徐匯区漕溪北路88号  
愛広場904

事業内容 繊維を中心とした総合商社  
繊維、機械、化成品、防災用品、  
メディカル製品の販売・リース  
レンタル、企画、生産管理、  
サービス、輸出入



## 会員企業紹介

### サイボー株式会社

代表取締役社長 飯塚 剛司

「すべては一筋の糸から」

サイボー株式会社は、繊維事業と不動産開発事業を軸に、さまざまな事業を手掛けています。

明治37年（1904年）に創業者が織物業を興してから115余年、紡績産業の浮沈やバブル崩壊など、幾多の転換期を経ながら歴史を紡ぐなかで、時代の流れを読み、事業の転換を図り、織り上げたものです。

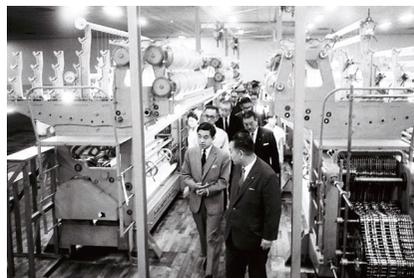
昭和23年（1948年）終戦から3年後、国民は食べて生きること懸命だった時代に綿紡績を操業し、戦後の日本国復興に微力ながら貢献してまいりました。その後、昭和40年秋（1965年）には、当時の皇太子殿下（現上皇陛下）の御行啓を仰いだ栄誉もありました。麻に関しては1985年からリネン織物の製造販売を開始し、現在は大手アパレルメーカーへのテキスタイル生地販売を中心とし、生機・原糸の販売も行っております。繊維事業は業態を転換させながら今日に至り、また不動産開発事業、自動車及びスポーツ関連事業など、新しい分野で事業の拡大を図ることが出来ました。

大切にしてきたのは「地域社会への貢献」「お客様によろこばれる商品の提供」「従業員の雇用安定化」です。地域貢献のために1984年と2000年に工場跡地の再開発として2つの大型ショッピングモール、2013年からは心臓と呼吸器に特化した急性期病院の賃貸事業を開始し、近隣住民の皆様の豊かで安心な暮らしを支援しています。2つの大型ショッピングモールのひとつが昨年8月にお客様から惜しまれつつ34年間の営業を閉じましたが、現在新たな商業施設の再開発に着手しています。また地域医療の充実のため、次なる医療施設の建設にも取り組んでいます。

これからも当社は、『燃ると強くなり、織れば多様な絵を描く糸』のように、人を重んじ、変化に対応できる企業でありたいと考えております。

#### <会社概要>

創業	1907年（明治37年）
設立	1948年（昭和23年）6月15日
資本金	14億200万円
事業内容	繊維製品製造販売、不動産賃貸事業
本社	埼玉県川口市前川 1-1-70
東京支店	東京都中央区日本橋人形町 1-2-6
福井出張所	福井県福井市大手町 3-7-1-511A



## 会員企業紹介

### 岐セン株式会社

代表取締役社長 後藤 勝則

日本で初めてスプレーヨンの防しわ加工を工業化したのが岐センです。

以来、様々な染色整理加工技術の改良・開発を繰り返し、特許なども取得しながら、成長を重ねてきました。

現在では複合素材商品の染色整理加工を得意としており、その用途は婦人紳士衣料、企業ユニフォーム、官公庁向け制服から不織布の工業材料、中近東民族衣装まで多岐多様な商品を加工しております。

特に麻複合素材におけるバイオ加工とシワ加工の加工バリエーションは婦人紳士衣料において、ここ数年ヒット商品の位置づけとなっております。

また、近年では染色加工で培った技術と経験値をもとに、木材ツキ板を染色する技術を確立、自動車の内装パネルにも採用されています。

岐センは創業70余年。これからも『技術の岐セン』であり続けるべく取り組みます。

#### <会社概要>

創立 昭和18年1月15日

資本金 1億円

従業員 235名

本社・穂積工場 〒501-0234 岐阜県瑞穂市牛牧758番地 TEL058-436-5111

大阪営業所 〒541-0053 大阪市中央区本町4丁目8-1 SD本町ビル901号室

営業品目 1 織物、編物および不織布の浸染・捺染・整理加工

2 衣料用繊維製品の製造販売

3 木材加工業および各種生活用品の製造販売

#### 関連会社

株式会社岐阜バイオマスパワー 【木質バイオマスを活用した発電事業、電力販売】

株式会社岐阜バイオマスエネルギー東海 【木質チップの製造、バイオマス燃料の販売】

岐セン物流株式会社 【繊維製品の仕包装、輸出梱包、内地梱包】

株式会社中日本アパレルシステムサイエンス 【グレーディング、CAD・CAMシステム設計、機器販売】

株式会社ギフパッキング 【繊維製品の仕立包装、内地／輸出梱包、段ボール製造販売】



## 新会員企業紹介

### 株式会社 ANTS JAPAN

代表取締役 村瀬 公一  
特別顧問 陸 忠

弊社は、平成 23 年創業、国内でストレッチ織物の製造販売を行ってまいりましたが、平成 28 年に南通業盟国際貿易グループの一員になり繊維原材料の輸入販売を加え、業務拡大を図っています。

短繊維事業において麻素材は TOP 染め麻 100% 原糸をベースに国内外メーカーの各種化合繊と複合した付加価値素材を提案しています。  
お客様と共にお客様の求める素材を供給します。

#### 我々グループの理念

- より高い目標を求める
- より多い創業者を集める
- 業盟の旗の下で創業の楽しみと成果を享受する

#### 我々グループの方針

- お客様に満足していただける製品を  
＜経済的かつ効率的＞に提供する
- 品質マネジメントシステムを継続的に改善  
＜顧客満足度＞の向上を図る

以上の理念・方針を持った専門集団として活動しています

住所：〒 500-8842 岐阜市金町 6-21 岐阜ステーションビル 805 号  
電話：058-265-1125  
FAX：058-265-1126

中国南通新工場（建設中）



< MEMO >

## 日本麻紡績協会 会員企業一覧 111 社、1 協同組合 (五十音順)

ア	青葉株式会社 株式会社 AKAI 株式会社アクシス 浅記株式会社 朝日加工株式会社 旭紡績株式会社 アトモスフェール・ジャボン株式会社 株式会社アマックスコーポレーション 株式会社 ANTS JAPAN アンドー株式会社 今村株式会社 岩田工房 栄光染色株式会社 越前屋多崎株式会社 エップヤーン有限会社 株式会社エヌ・ビー・アール 近江織物株式会社 株式会社大志茂 大森捺糸株式会社 小千谷織物同業協同組合	有限会社小啓修整織物	サ	サイボー株式会社 澤染工有限会社 株式会社三幸 株式会社三幸ソーイング 株式会社三和リネン 有限会社シービープランニング 滋賀麻工業株式会社 信友株式会社 島村メリヤス株式会社 株式会社ジャスカ 聖天株式会社 新成物産株式会社 新陽株式会社 鈴木晒整理株式会社 有限会社鈴由商店 装研株式会社	株式会社トーホーユニ トスコ株式会社 殿岡服飾工業株式会社 豊川テキスタイル株式会社 豊田株式会社	
カ	カネマサ莫大小株式会社 有限会社金丸整理工業 甲株式会社 有限会社川登 株式会社カンセン 株式会社関東小池 菊高産業株式会社 岐セン株式会社 株式会社北国生活社 株式会社キョウワソーイング 株式会社金原 グロリア株式会社 桑村繊維株式会社 K B ツツキ株式会社 株式会社ケンランド 江東製織株式会社 興和株式会社	株式会社三和リネン ナ	ナ	中伝毛織株式会社 中村株式会社 有限会社ナカモリ 西本株式会社 西山繊維株式会社 日新実業株式会社	ハ	
			タ	株式会社ダイイチ 大恒株式会社 株式会社大長 大和染工株式会社今治 高島株式会社 株式会社タグチ 株式会社武田商店 株式会社タケミクロス タッカ株式会社 辰野株式会社 田村駒株式会社 蝶理株式会社 帝国繊維株式会社 有限会社テキスタイルベガ 株式会社テザック 稲京株式会社 東興産業株式会社 東洋繊維株式会社 東洋物産株式会社 東和株式会社	ハ	ハイランド MP 株式会社 服部テキスタイル株式会社 平岡織染株式会社 株式会社廣瀬商会 廣瀬又一株式会社 藤居織物工場 ブルーミング中西株式会社 株式会社穂高商事
					マ	株式会社麻絲商会 株式会社ニット技研 株式会社マルキン 丸佐株式会社 丸進工業株式会社 株式会社丸萬 三重ユニフォーム株式会社 株式会社三崎 ミマス株式会社 未来テクノ株式会社 株式会社武蔵富装 株式会社むつ縫製 森菊株式会社 森保染色株式会社
					ヤ	山甚物産株式会社 株式会社ユニウエル
					ラ	有限会社リネット リネンハウス株式会社
					ワ	株式会社ワールドプロダクションパートナーズ

会員企業ネットショップ URL 一覧 (五十音順)

株式会社 AKAI	<a href="http://www.linenkyoto.com/index.html">http://www.linenkyoto.com/index.html</a>
旭紡績株式会社	<a href="https://www.rakuten.ne.jp/gold/ito-asahibo/">https://www.rakuten.ne.jp/gold/ito-asahibo/</a>
株式会社アマックスコーポレーション	<a href="http://amaxcorp.co.jp/orderform/">http://amaxcorp.co.jp/orderform/</a>
株式会社エヌ・ピー・アール	<a href="https://www.cadeauya.jp/">https://www.cadeauya.jp/</a>
株式会社カンセン	<a href="http://www.kansen.co.jp/nso5/">http://www.kansen.co.jp/nso5/</a>
株式会社北国生活社	<a href="http://www.amanosato.jp/">http://www.amanosato.jp/</a>
桑村繊維株式会社	<a href="https://tipico-kuwamura.stores.jp/">https://tipico-kuwamura.stores.jp/</a>
株式会社ケンランド	<a href="https://kenland.shop-pro.jp/">https://kenland.shop-pro.jp/</a>
有限会社シービープランニング	<a href="http://studioecru.shop-pro.jp/">http://studioecru.shop-pro.jp/</a>
滋賀麻工業株式会社	<a href="https://www.asaoroshi.com/">https://www.asaoroshi.com/</a>
株式会社ダイイチ	<a href="http://e-uniform.jp/index.php">http://e-uniform.jp/index.php</a>
大恒株式会社	<a href="https://www.kijinomori.com/">https://www.kijinomori.com/</a>
株式会社タケミクロス	<a href="https://www.takemicloth.co.jp/">https://www.takemicloth.co.jp/</a>
トスコ株式会社	<a href="http://ramino.biz/index.html">http://ramino.biz/index.html</a>
殿岡服飾工業株式会社	<a href="https://tonooka.thebase.in/">https://tonooka.thebase.in/</a>
有限会社ナカモリ	<a href="https://www.rakuten.ne.jp/gold/nakamori/">https://www.rakuten.ne.jp/gold/nakamori/</a>
株式会社松井ニット技研	<a href="https://www.matsui-knit.com/">https://www.matsui-knit.com/</a>
ブルーミング中西株式会社	<a href="https://www.classics-the-small-luxury.com/">https://www.classics-the-small-luxury.com/</a>
ブルーミング中西株式会社	<a href="https://www.handkerchief-gallery.com/">https://www.handkerchief-gallery.com/</a>
ブルーミング中西株式会社	<a href="https://table-recipe.com/shop/">https://table-recipe.com/shop/</a>
ブルーミング中西株式会社	<a href="https://www.hotel-blooming.com/">https://www.hotel-blooming.com/</a>
株式会社麻絲商会	<a href="https://mashi.shop-pro.jp/">https://mashi.shop-pro.jp/</a>
株式会社武蔵富装	<a href="https://tsuku2.jp/storeDetail.php?scd=0000032446">https://tsuku2.jp/storeDetail.php?scd=0000032446</a>
株式会社武蔵富装	<a href="http://www.rescuenet.jp/">http://www.rescuenet.jp/</a>
森菊株式会社	<a href="https://www.rakuten.co.jp/kijistore/">https://www.rakuten.co.jp/kijistore/</a>
有限会社リネット	<a href="http://www.lin-net.com/shop_linnen.html">http://www.lin-net.com/shop_linnen.html</a>
リネンハウス株式会社	<a href="http://www.linenhouse.jp/">http://www.linenhouse.jp/</a>

日本麻紡績協会

〒 103-0013 東京都中央区日本橋人形町 1-1-10

TEL 03-3668-4641

FAX 03-3668-4642

Email [jp-asabo@cb.wakwak.com](mailto:jp-asabo@cb.wakwak.com)

URL <http://www.asabo.jp/>

令和元年 5 月 16 日発行

本誌表題について

「麻につるる」は、ことわざ「麻につるる蓮（よもぎ）」に由来しています。ことわざの意味は、「曲がって生えやすい蓬でも、真っ直ぐに生える麻の中で育てば、曲がることなく自ずと伸びる」ということです。転じて、善良な人々に交われれば、殊更に教育をしなくとも自然に善良な人に育つ、という意味に用いられます。

日本麻紡績協会におきましても、麻に携わることを生業（なりわい）としている我々は、このビジネスに打ち込んでいる、それだけで真っ直ぐなどビジネス人生を描いて、成長していくことができる、そういう想いと願いを込めて、当協会誌のタイトルといたしました。



仏・リール リネン畑 phpto by M.K.

## 日本麻紡績協会

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町 1-1-10

TEL: 03-3668-4641

FAX: 03-3668-4642

Email: [jp-asabo@cb.wakwak.com](mailto:jp-asabo@cb.wakwak.com)

URL: <http://www.asabo.jp/>